

産地戦略

実施期間 令和8年度～令和12年

実施主体 湖北オーガニック米栽培協議会
都道府県 滋賀県
対象地域 長浜市、米原市
対象品目 水稲



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

既にオーガニック水稲栽培に取り組む大規模水稲経営体が、水稲オーガニック栽培における最大の課題である雑草害防除等について、より省力的な体系の実践により、経営の1部門としてオーガニック米栽培面積がさらに拡大される。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名				「オーガニック近江米」の手引きのとおり									
技術名													

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名													
技術名				栽培マニュアルに記載のとおり									

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	6000（93.6）	▶ 6000（95.0）	括弧内は有機面積
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	（0.6）	▶ （1.5）	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	（0.6）	▶ （1.5）	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	10	▶ 110	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境省力	乗用型除草機による除草作業	▶ 水位センサーを組み合わせた抑草ロボットの活用	雑草防除の省力化による有機農業の面積拡大 除草作業工程の削減（2回→1回）
省力	背負い動力散布機による追肥	▶ ドローンによる省力追肥	作業時間の大幅な縮減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境省力	乗用型除草機による除草作業工程（回）	2	▶ 1	
省力	追肥作業時間（hr/10a）	0.33	▶ 0.05	削減率85%
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

本事業の実証試験結果に基づいて作成したマニュアルを活用した情報提供と指導により周知、普及を図る。

関係者の役割

関係者名	滋賀県 (湖北農業普及指導センター)	農業者		
役割	技術指導	栽培技術の実践		

事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

農業機械名	作業内容	活用面積（R11）（ha）	備考
農業用ドローン	追肥	110	